

京都タワー（株）

JR京都駅前の京都タワー内の諸施設や京都タワーホテルなどを経営する同社では、児童福祉施設の子どもたちを毎年末に京都タワーへ招待しています。これは、「下京の一主婦」と称される方が匿名で「恵まれない子どもたちにタワー展望を楽しませてあげてほしい。」と同社に愛の寄金を託されたことが契機となり昭和40年から開催し、平成21年12月には46回目の開催となりました。また、京都タワーマスコットキャラクター「たわわちゃん」が児童福祉施設を訪問して「鬼パン」や「雛パン」をプレゼントする取り組みも行っています。

環境への取り組みでは、同社は平成21年1月にKES環境機構の認証を受け、環境負荷の低減に向け環境活動に取り組んでいます。その一環として脱温暖化行動キャンペーンを展開している京都府、京都市等の地球温暖化の防止に関する取り組みに賛同し、



たわわちゃん



鬼パン

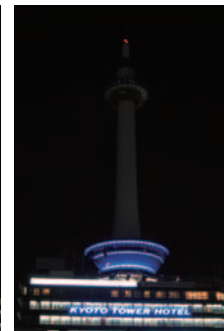
雛パン

その取り組みのひとつで毎月16日に実施される「京都統一ライトダウン」に参加しています。このほか、平成21年7月7日「セタライトダウン」、平成22年2月1日「4都市連携ライトダウン」、3月27日「Earth Hour アースアワー」のライトダウン活動にも参加しました。なお、マスコットキャラクター「たわわちゃん」は環境活動でも活躍しており、平成21年5月3日に(財)京都市都市緑化協会から初代の「緑の大使」に任命されました。「たわわちゃん」は都市緑化に関するさまざまなイベントの開催を通して、都市緑化の普及・啓発活動に取り組み、子どもたちの未来にとって、住みやすい「緑の京都」にするためのさまざまな活動に参加しています。

さらに同社は、平成10年2月から「京都駅周辺を美しくする会」の京都駅周辺の環境美化、清掃活動に賛同し発足当初より毎月2回、清掃活動を実施しています。同社から12年間で約480名がこの活動に参加しています。



消灯前



消灯後

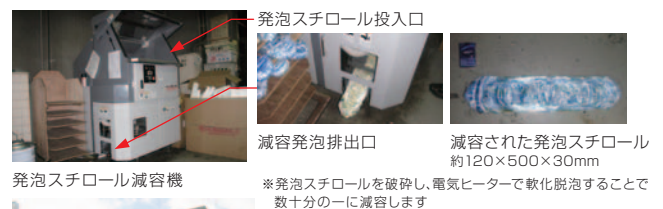
(株)京阪百貨店

同社では、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に向けての取り組みはもちろん、環境改善に向けての環境に配慮した商品の販売や簡易包装など省資源の推進、環境に関する情報をお客さまに提供することで環境活動の啓蒙を行なっています。

具体的には、守口店において発泡スチロールの減容およびインゴット化による輸送に係る環境負荷の低減および廃プラスチックの分別による再資源化により、廃棄物の最終処分量削減を図りました。また、食品売場や手洗いなどへの節水機の設置により水道使用量の削減を図りました。そのほか、地球温暖化防止が求められるなか、CO₂排出量の削減に向けた館内空調温度の緩和などの省エネ活動も推進しており、さらに設備と運用の両面から総合的な対策を検討しつつあります。本来の業務に関係するものでは、環境に配慮した商品を環境適用品として社内基準に従って認定し、そのアピールポイントを表示して販売しています。

今後は徐々に表示が進むカーボンフットプリント商品も含め、お客さまに環境情報を提供することも百貨店の本来の業務に関連する環境活動として捉えて活動しています。そのほか、スマートラッピング(お客さまの用途に合った包装の提案)の推進や、食品売場における地産地消の取り組みや食育に関する情報も定期的に発信しています。

また、平成22年秋に開店予定の「すみのどう店」につきましても、外気導入型冷房システムなどの省エネ型空調設備の採用や省エネタイプの冷蔵機器の設置、LED照明を積極的に採用するなど環境配慮型の建物としています。開店後は既存店同様に環境活動を推進いたします。そのほか、食品売場における集中レジ化によるレジ袋使用量の削減や、できる範囲でトレー販売から袋販売などに変更することで廃棄物の更なる削減を計画しています。また、守口店同様に発泡スチロール減容機も設置いたします。



発泡スチロール減容機



建築中の「すみのどう店」
(2010年10月上旬開店予定)